

第2回和田作業部会議事録

開催日時: 令和8年7月24日 18時～19時30分

開催場所: 和田コミュニティセンター 集会室

参加者

グループ	1	2
人数	4名	5名

- あいさつ、アイスブレイク
事務局から、参加のお礼と前回の内容について説明があった。
その後、第1回と同じ3つのグループに分かれてアイスブレイクを行った。
- グループワーク①
第1回で出し合った「自分たちが住みたい地域」「地域に住む人が住みたい地域」の各アイデアを4つのテーマに分別した。
- グループワーク②
再度グループ分けを行い、参加者を2つのグループに分け、4つのテーマの中でさらに同じような内容にまとめた。
- まとめ
つながり、支え合いのあるまち: このテーマに関するグループ発表では、相談窓口の設置や外国人との共生社会の実現が最も重要な課題として挙げられました。具体策として、地域での交流の促進、若者や障害者の居場所作り、伝統の伝承、日本のルールを教える人材の配置が提案されました。また、対人関係においては「人に甘く人に厳しい」という姿勢を持ち、他者を思いやる心を持つ町を目指すべきだという意見が示されました。
- 安心・安全のあるまち: このテーマでは、地域での見守り活動や警察との連携、防犯・防火対策の重要性が強調されました。さらに、外国人住民へのサポート体制の構築や、空き家対策、放棄地の管理といった課題が挙げられました。また、生活の安心感を高めるために、信号の設置や道路の整備といった交通安全対策、バリアフリー化の推進が必要であるという見解が示されました。
- 暮らしを支えるサービスが充実したまち: このグループは、病院や介護施設の近接性、自治会の資金活用によるサービス拡充の重要性を指摘しました。さらに、バリアフリー住宅の整備、移住者への支援、男性向けのコミュニティセンターの行事といった具体的な要望が共有されました。交通手段に関しては、タクシーのシェアリング、ライドシェアの活用、バス路線の整備、空港や新幹線へのアクセス向上も意見としてあがりました。加えて、ゴミステーションの配置改善や、スーパー、移動販売車、デリバリーサービス等の小売・生活支援の充実、子供の遊び場や相談場所を含む子育て支援の強化が求められました。

- 地域が活気になるまち: このテーマでは、単なる居住地ではなく、魅力ある「希望の街」としての発展が目指されました。具体的には、映画館やレストラン、飲食店(スナック)などの商業施設の誘致、マリンスポーツや魚釣りなどのレジャー環境の整備、温泉施設の活用が提案されました。また、地域行事への積極的な参加、子供が主体となる祭りや挨拶の習慣化、遺跡の保全、病院や老人福祉の継続的な提供など、地域全体で活気を生み出すための多岐にわたるアイデアが出されました。

